■丸山作楽　　奇人で知られた政治家。征韓論に同調して長期入獄，出獄後は親政府となり，対外強硬で自由民権反対。
まるやまさくら
勧進帳初演・1840＝　　江戸芝三田四国町の島原藩邸で，藩士丸山正直の長男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 5歳：
_幼い頃から家が貧しかったために，

北斎没・・・1849＝ 9歳：_髪をそり茶坊主の見習いとなった。

_藩儒岩瀬正言に就いて経伝の素読を受けて，

ペリー来航・1853＝13歳：
開国開港・・1854＝14歳：_山形藩の碩儒塩谷宕陰から漢学を学んだ。

松下村塾・・1856＝16歳：_藩主から還俗の命令があり，藩校の明親館の句読師として努めた。

五ヶ国条約・1858＝18歳：
_平田鉄胤の門に入り国学を学び，尊王攘夷思想にめざめ勤王諸士と交わり，
桜田門外変・1860＝20歳：〈桜田門外の変〉の嫌疑をさけて，
遣欧使節・・1861＝21歳：_長崎へ赴き，佐賀藩士後藤又三郎に就いて蘭学を学んだ。
_その後，肥前・筑後・長州・京都などを遊歴，国事に奔走，
8月18日政変 1863＝23歳：_諸国学問修業の命令を受けたが，島原に私塾{神習処}を開く。

薩長同盟・・1866＝26歳：_激論を唱えて藩命により投獄されたが，
大政奉還・・1867＝27歳：_〈王政復古〉とともに許され，
明治維新・・1868＝28歳：_官途につく。その際に九州鎮撫総督沢宣嘉に招かれて長崎広運館の和学局長となった。
戊辰戦争終・1869＝29歳：東京に召され，徴士をもって神祇官権判事に任ぜられ，
初の日刊新聞1870＝30歳：_外務大丞となり，樺太に出張，対露交渉にあたったが，兵力なき談判の無為を感じ，帰国。政府にロシア南下への積極対抗策を進言したが容れられなかった。以来対外硬派となる。
廃藩置県・・1871＝31歳：_外務省内におこった征韓意見に同調した科で，一時福井藩御預け，
学問のすすめ1872＝32歳：_改めて除族の上，終身禁獄を申し渡され，長崎監獄に投ぜられた。
明治6年政変 1873＝33歳：

三つの反乱・1876＝36歳：

・・・・・・1880＝40歳：_恩赦により出獄。
明治14年政変1881＝41歳：*自由民権論に対抗して{忠愛社}を起こし，機関誌{明治日報}を発刊。伊藤博文らの命を受け，
新体詩抄・・1882＝42歳：_自由民権派の自由党・立憲改進党結成に対抗して，日報社の福地源一郎，東洋新報社の水野寅次郎とともに立憲帝政党を結成，欽定憲法，財産による制限選挙を主張し，政府支持の立場を明らかにした。
岩倉具視没・1883＝43歳：_黒川真頼・栗田寛らと史学協会を設立して{史学協会雑誌}を刊行するとともに，大槻文彦・福羽美静らと{かなのくわい}を興して，国粋主義の立場から仮名文字使用をすすめ，神祇官の再興に力を注ぎながら，
内閣発足・・1885＝45歳：*教育の重要性を説いて，成城学校を創立に関係し，日本体育会の副会長になり水難救済会を興すなど神道・教育・社会事業など様々な分野に関心を示し力を入れた。
帝国大学始・1886＝46歳：_宮内大臣伊藤博文により図書助に任ぜられ，井上毅のもとで憲法・皇室典範の制定に従事，
国民之友始・1887＝47歳：欧州へ出張，スタインの憲法講義をきくとともに各国帝室制度を調査，
初の対等条約1888＝48歳：帰国し，帝室制度取調掛となった。
帝国憲法発布1889＝49歳：
帝国議会始・1890＝50歳：*元老院議官，貴族院議員に勅選され，没するまでその地位にあったが一度も登壇することはなかった。

日清戦争始・1894＝54歳：

Bushidou・・1899＝59歳：心臓弁膜炎のため東京代々木の自宅で_没した。
国学者としても活躍，万葉調の和歌をよくし，「盤之屋歌集」がある。

平凡社百科事典，